



Contents — もくじ —

- P1 **Hot Topic!**
Zoomによるオンライン日本語講座
- P2 **新理事長からのメッセージ**
理事長 布浦 万代
- P3 **Zoom Up!**
①「町たんけん」受け入れ
②こども日本語勉強会@むすびつくば
- P4 **Information & Notice Board**

Hot Topic!

Zoom によるオンライン日本語講座

20 20年1月に中国武漢で発生したコロナウイルスは、当協会の日本語講座に大きな影響を与えました。3月から今まで長年やってきた対面教室ができなくなったのです。

その後4月初旬、日本語ボランティアをしている方から「Zoomを使ってみませんか。」とお誘いいただきました。それがこのオンライン日本語講座のきっかけとなりました。

それからは、当協会日本語ボランティアの強力な協力があり、手探りの中、試験的に4月後半から9月まで「とりあえず集まっておしゃべりしましょう」のコンセプトで「おしゃべり会」を週5回、1回30分で開催しました。失敗しながらの出発でしたが、最初は40人ほどの参加者がありました。

半年が過ぎ、10月からは、「日本語の学習と交流の場」として、日本語0（ゼロ）レベルの人から、日常会話レベルまで、4レベル週8回クラスを開催することにしました。そのためボランティアの増員が必要になりました。

教室とオンラインの指導は同じところもありますが、違うところもあります。パソコンを操作しながら授業すること、使ったことのないZoomというアプリケーションを使っの授業となると、十分な対面指導の経験があっても、容易いことではなく、増員は簡単ではありませんでした。

そのような時に、教室活動を担うTIVONAの会の先生たちが、仲間を誘って、一人、また一人と参加者が増えてきました。本当にありがたかったです。また、新しく参加するボランティアのために、研修会、説明会の開催など、ご尽力いただきました。

一方、外国人の受講生は、インターネットで質問に答えながら申込をする形式に変え、影響したかどうかはわかりませんが、結果、申し込みが多く、80人の定員が早い時期に決定しました。

日本語講座を始めてみて、ステイ・ホームにより、日本人との交流がなくなり、寂しく思っている人、小さいお子さんがいるなど、事情により今まで教室に来られなかった人など参加の機会ができたことがわかりました。

4月からも日本語講座はオンラインで開催することになりました。この講座をとおして、外国人との交流を続け、この大変なコロナウイルスとの戦いを乗り越えたいと思います。





このような時だからこそ

一般財団法人 つくば市国際交流協会理事長
布浦 万代

1年前の今頃、世界中の殆どの人々はCOVID-19の存在も知らず、その後には及ぶ辛苦を強いられる生活など想像さえしなかったことでしょう。当初、この状況も年内には収まるのではないかと多くの人が持った安易な予測に反して全国における自粛要請の中、今年も幕が開けました。

当国際交流協会は、国際交流事業、文化交流事業、外国人生活支援事業、姉妹友好都市交流事業など、昨年も多く事業案を立て実行すべく歩み出しましたが、その達成率は50%弱となりました。中でもそのような状況下にあっていち早くオンライン事業を立ち上げ、外国人への支援事業である日本語講座のオンライン授業は150回を超え、順調な運びとなりました。加えてこれらの関連事業である日本語ボランティア講師入門講座などもオンラインに切り替えることが出来ました。また、毎月1回「いっぱいのお茶から世界が見える」をコンセプトに好評裡に開催している「世界お茶のみ話」も会場の密や消毒、事前の申し込みによる人数制限などの管理を徹底し、続行することが出来ました。この事業においては今までに約40ヶ国の文化や歴史、国の現状と課題、日本やつくば市との関係、その課題に対する考え方や取り組みなどを紹介して参りました。とりわけ外国人講師の方々の話は、閉じこもりがちな日々の生活を余儀なくされている出席者を広い世界の旅へといざなってくれました。尚、このプログラムはYouTubeでライブ配信中です。

また、つくば市健康増進課発行の「ライフプラン・すこやか」の翻訳、学校での保護者面談の通訳の実施、外国人相談室では悩みを抱えている外国の人たちに対しても耳を傾けることが出来ました。

しかし、COVID-19のために残念ながら中止を余儀なくされた事業も多々ありました。姉妹友好都市である韓国・大田市との日韓青少年交流事業は、2020年度における中学生のホームステイの受け入れは、つくば市側が行う予定になっておりましたが、両国間の往来が困難となり中止となりました。韓国の中学生たちがつくば市への訪問を楽しみにしていたことを知り、この事業は夢が叶える日を待つことにしました。他にも日本・外国文化体験、医療通訳派遣、世界の料理教室などはその内容上、実施することが出来ませんでした。世界の国際化が急速に進む中でCOVID-19によって国際交流協会の果たす役割が志し半ばになっている現状は残念至極ではありません。

しかし、世界を震撼させるこのCOVID-19の時だからこそ、新しい視点で国際交流のネットワークを構築し、研鑽を積む好機と捉え期待に応えられるよう更なる国際交流の事業を推進して参りたいと考えております。

また、今年度も当協会に対し賛助会員としてのご入会を仰ぎましたところ、賛助会費と共に多くの皆様方からご理解・ご協力を賜りました。これらの尊い資金は外国人支援活動等に充当させて頂いております。紙面をもちまして厚くお礼を申し上げます。

尚、これまで当協会は多くの事業を行って参りました。その活動を広く知って頂くためにホームページを開設しております。一緒に活動できるがことがございましたら、当協会にご連絡を頂きたく存じます。今後共より一層のつくば市国際交流協会へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

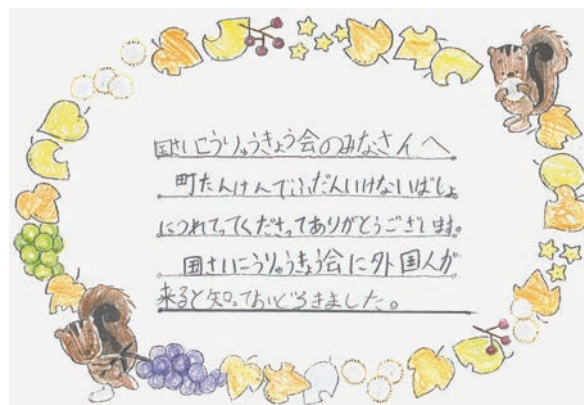
昨年、理事の改選がありましたので、新理事長からのメッセージをお届けします。
インタビュー企画「種まく人」はお休みします。

事業報告① **ZOOM UP!** 「町たんけん」受け入れ

児童自身の住む地域のことを知るという目的で、吾妻小学校2年生8人が当協会に「町たんけん」に來られました。つくば市には、何ヶ国、何人の外国人が住んでいるのか、協会ではどんな活動をしているのかなどをお話したあとに、児童たちからたく

さんの質問を受けました。後日いただいた児童からのお手紙は、私たちにとってもいい励みになります。様々な国の文化や習慣を肌で感じ、理解し、共に生活することはとても大切ですし、お互いに良い経験になると思います。

当協会では文化紹介（国際理解講座）事業で外国人を学校に派遣するなども行っていますので、いろいろな国について知りたいなどのご希望がありましたら、ぜひお問い合わせください。



事業報告② **ZOOM UP!** こども日本語勉強会 @むすびつくば

外国に繋がる児童生徒を対象に「こども日本語勉強会」を11月末から開催しています。これまで、夏休みや冬休みなどの時期に行っていましたが、個々のニーズに応じた内容で継続的に学ぶことが望ましいため、週2回放課後の時間帯に行っています。現在、モンゴル、トルコ、マレーシア、パキスタン、カザフスタンなどのこどもたちが参加しています。また、こども日本語ボランティア養成講座（筑波学院大学共催）を修了した皆さんが中心になって子どもたちの指導をいただいています。

今後継続していくにあたって、指導者の不足、予算確保の課題などがありますが、その他にもどのような体制、内容、手法で行ったら良いのかを検討するため、まずは参加者の対象地域を限定して行い、個々の課題に対応しながら進めていきたいと考えています。

本事業は、「2020年度茨城県提案型共助社会づくり支援事業」を受託した認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所からの受託事業であり、筑波大学、筑波学院大学、つくば市教育委員会などのご支援もいただいで運営しています。

※つくば市内の小中学校には外国に繋がる児童生徒が700人弱在籍しており、そのうち200人以上が要日本語支援といわれています。この要支援者数は茨城県全体の半数にあたります。私たちは様々な団体と協働し市全体として支援できる体制を模索していきたいと考えています。



Information

世界お茶のみ話

つくば市には、実に多くの国の人々が在住しています。外国人だけでなく、世界で活躍する日本人も多く、ひとりひとりが様々な背景を持っています。毎月第3土曜日に開催している「世界お茶のみ話」では、ゲストの母国の歴史・文化・国の現状や課題・その課題に対する考え方や取り組み・つくば（日本）との関わりなどを紹介し、参加者全員で話し合うイベントです。

毎回多くの聴講者の方にお越し頂いておりましたが、近年のコロナウイルスの流行により、昨年の3月から7月までは開催を中止せざるを得なくなりました。一方で、どうにかして開催できないかと、オンライン化の準備に取り組んでまいりました。

Youtubeにて『つくば市国際交流協会チャンネル』を作成し、会場に来なくても講演をご覧頂けるようになりました。また、現在では人数制限などの感染防止対策を徹底したうえで、オフライン（会場）とオンライン（LIVE配信）でのハイブリッド形式での開催をしております。右記のQRコードから、過去の講演をいつでも視聴することができま

すので、ご興味のある方はぜひチャンネル登録をお願いします。

現在もなお、コロナウイルスの影響は、日常生活全般において多大な影響を及ぼしています。これまでに得た知識・経験・対処法をもっても打開策が見つからないのが現状です。様々な制限が付き、いろいろと行き届かないこともありながらも楽しみにしている皆様には心より感謝申し上げますと共に、できることから少しずつ対応して参りますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。



"Let's talk over a cup of coffee!"

第43回 一杯のお茶から世界が見える

世界お茶のみ話

カナダ Canada

2021. 2. 20 (SAT) 15:45 ~ 17:15

場所: B1F つくば 交流サロン

「YouTubeチャンネル開設」
世界のお茶の話を
いつでも視聴できます！
チャンネル登録をお願いします！

つくば市には、実に多くの国の人々が居住しています。また、世界で活躍する日本人も多く、ひとり一人様々な背景を持っています。「世界お茶のみ話」では、ゲストの母国の歴史・文化、国の現状や課題、課題に対する考え方や取り組み、つくば（日本）との関わりなどを紹介し、参加者全員で話し合います。毎月第3土曜日に開催します。新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場の観覧は事前の予約が必要です。 examinter.or.jp

講師紹介：井原 理子
こんにちは！カナダの紹介担当、元英語教師の井原理子です。英語教師生活を経て、カナダに留学・滞在しました。カナダは想像よりも身近で、山や湖などの自然についても先進的に取り組み、それらが多くの国民に浸透している魅力があります。

お話しする内容は、お茶をいづつを予定しています。
【お茶や文芸】エッセイや詩の朗読
【食】 地方と都市の比較をふまえて
【観 覧】カナダ人がおすすめする観光スポット
皆さんと交流できるのを楽しみにしています！

主催：つくば市国際交流協会 協力：つくば市 問合せTEL：029-869-7675

Notice Board

つくば市国際交流協会 賛助会員募集！

当協会では、協会活動の趣旨にご賛同いただける皆様からの資金面でのご支援を募っています。

◆令和2年度の賛助会員（団体及び法人）

TIVONAの会、一財21世紀教育会、つくばワールド行政書士事務所、新日本補聴器(株)新日本補聴器センター土浦支店、浅野物産、飯野工業(株)、(株)建築設計室匠工房、(株)高田工務店、(株)ライフアップ、常陸興業(株)、(株)河野正博建築設計事務所、(株)小泉建築設計事務所、太洋電機産業(株)、大和リース工業(株)、一般社団法人つくば観光コンベンション協会（令和2年度会員内訳：個人180、団体2、法人13）

◆賛助会費

個人：1口 2,000円／年
団体：1口 10,000円／年
法人：1口 20,000円／年

※1 今年度、新型コロナウイルス感染症の拡大により、年度当初の賛助会員勧誘ができませんでした。その関係で、これまで単年度の会員期間だったものを、10月から翌年9月までの会員期間も可能となりました。

※2 その他、運営を支援いただく各種ボランティアがごぞいます。詳しくは、当協会のHPをご覧ください。

編集・発行



（一財）つくば市国際交流協会
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻 1-10-1 つくばイノベーションプラザ内
TEL：029-869-7675 FAX：029-852-5513
ホームページ：<https://www.inter.or.jp/> メールアドレス：info@inter.or.jp